

1 本年度の重点目標

(1)学習意欲の向上	(2)運動意欲の向上	(3)道徳的実践意欲の向上
(4)学校内の組織力の向上	(5)学校と保護者との組織力の向上	(6)学校と地域との組織力のさらなる向上

2 本年度の経営方針

(1)主体性を育む3つの意欲の向上 学習意欲 運動意欲 道徳的実践意欲
(2)最大の強みである奥富小組織力のさらなる向上

3 自己評価結果

【評価の目安】A:よくできている(90%) B:概ねできている(85%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない(70%未満)

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
教育目標	1	教育目標や学校経営方針を意識して、校務分掌にあたっているか。	A	・あいさつ運動等に定期的に取り組み、児童の社会性を育む。 ・HP、各種便り、保護者会などを通じて、基本的生活習慣の重要性を保護者・地域に周知徹底し、連携を強化する。
	2	指導の重点を意識して、日々の授業をしているか。	B	
	3	学校教育目標や学年・学級目標を児童・保護者等に周知するよう工夫しているか。	A	
組織運営	4	児童理解に基づき、可能性(知・徳・体)を伸ばすための学年・学級経営がなされたか。	B	・校務分掌を定期的に見直し、教職員の負担を分散させる。 ・専門スキルを持つ外部人材を計画的に活用し、組織的に対応していく。 ・ICTの活用により、業務全体の効率化を図る。
	5	担当の校務分掌・各種委員会は、機能しているか。	B	
	6	職員会議や各部会が、計画的に持たれ、機能しているか。	B	
	7	各組織内では、「報告・連絡・相談」が適切になされているか。	B	
	8	学年研修は計画的になされているか。	A	
	9	「開かれた学校」を意識し、学校運営協議会を活用し、家庭や地域・外部機関との連携に努めているか。	B	
教育課題	10	授業時数は確保されているか。	A	・教職員の専門性を高めるための研修機会を充実させる。 ・地域ボランティアとの連携を強化し、教育活動への参加を促進する。 ・児童一人ひとりの学習ニーズに合わせた教材や指導方法を選択する。 ・個別最適な学習や振り返りの時間を確保し、学習内容の定着を図る。 ・デジタル教科書等を積極的に活用し、視覚的に理解を深める。 ・埼玉県学力学習状況調査等の各種学力調査結果を分析し、個別指導に役立てる。 ・朝マラソンや外遊びなど、児童の体力向上につながる活動を継続的に実施する。
	11	日課表は適切であるか。	A	
	12	年間指導計画は本校の実態に即して適切に計画されているか。	B	
	13	指導目標をおさえた指導ができているか。	B	
	14	個々の児童の能力に応じて、基礎・基本の確実な定着を図る指導法の工夫改善がなされているか。	B	
	15	授業のねらいを明示し、児童の言葉でまとめをするなど、学びを実感できる授業実践に取り組んでいるか。	B	
	16	主体的・体験的・問題解決的な学習を取り入れた授業が展開できたか。	B	
	17	学習指導の結果を振り返り、反省と検討をしているか。	B	
	18	評価の規準は学年内で統一されていたか。	A	
	19	学習に必要な資料・教材教具は用意され、使用後は整理や保管が適切になされたか。	B	
	20	体育部の方針に沿って、積極的に体力向上の取組を推進できたか。	B	
	21	バランスの良い心身の発達を指導し、児童の健康管理を支援できたか。	B	
	22	学びの場を地域へ広げ、地域の環境や人材を効果的に活用するよう努めたか。	B	
	23	課題研究、現職研修に主体的に取り組んでいるか。	A	
生徒指導・道徳	24	ICTを積極的に活用して授業をしているか。	B	
	25	授業はじめと終わりの挨拶について、指導の徹底を図っているか。	A	・児童が安心して相談できる環境を作り、早期の課題解決を目指す。 ・Q-Uテストを活用し、児童の自己肯定感を高める居心地の良い学級作りに努める。
	26	校外での生活指導は適切になされたか。	A	
	27	生命や人権を尊重する心情や態度を育む指導は適切になされたか。	B	
	28	豊かな心・強い意志を育む道徳教育は効果を上げているか。	B	
環境整備	29	教育効果を高めるような掲示の工夫をしたか。	B	・道徳教育や日常の教育活動を通じて、言葉遣いや相手を尊重する態度について指導する。 ・施設設備の定期的な安全点検を実施し、危険箇所を迅速に改善する。 ・不要な物品を整理し、安全で快適な学習環境を維持する。
	30	特別教室が計画的に整備され、有効に利用されているか。	B	
	31	元気なあいさつは定着しているか。	B	
	32	正しい言葉づかいは定着しているか。	C	
	33	子供と一緒に清掃等の活動に取り組んでいるか。	B	
	34	開かれた学校の視点から、行事や授業の公開に積極的に取り組んでいるか。	A	
	35	毎月の安全点検を着実にやっているか。	B	

令和6年度 狭山市立 学校(幼稚園)学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。

※ 【評価の目安】

A : よくできている。(90%以上) B : 概ねできている。(85%以上) C : あまりできていない。(70%以上) D : できていない。(70%未満)

領域	番号	評価項目	学校運営協議会委員から 評価(文章要約)	
			評価	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	B	・地域の方に協力していただきながら子供たちがお米作りに携わる事は素晴らしいと思いました。今後この様な地域と密着した行事が続 き、将来的には子供たちが作り収穫したお米を販売する事ができたらなと考えたりもしました。 ・児童と教職員の先生方との距離感が近く、保護者としては大家族を見ている様なアットホームな学校の雰囲気がとても好きです。 ・児童個別の問題においても担任の先生以外にも情報共有が行き届いており、とても安心しております。・教職員と児童のコミュニケーション が良くとれている。 ・保護者の方、PTAの方にもこれまで以上に協力いただきたい。 ・児童がいそいそ学校生活を送っている様子がうかがえる。学校運営協議会開催日の参観のみならず、普段からその様子を見て感じて ます。 ・地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができる上では、学社融合事業の「奥富の田んぼ1年プロジェクト」は大成功と言っ ていいのではないかと、農家さんからの意見で、5年生の児童が家庭科の事業でご飯を炊いて実食したことは大いに評価できる。田植え、稲 刈り、実食までを一貫して行うことができた。令和7年度は、「しめ縄作り」も自分たちで手刈りした稲で作ることを目標としたい。 ・学校と地域住民が連携・協働する機会が増えることは、教職員の皆さんも地域の人材や風習・習慣などに対する理解が深まり、この地域 ならではの教育を実践できているのではないかと。 ・地域の方々も教育活動に参画することで、特に年配の方であれば、生きがいを感じたり、自己実現につながったりしているのではないかと。 一方で、保護者の参画が限定的と感じる。目に見えないだけかもしれないが。学校や地域任せになってはいないか。 ・学校運営協議会のメンバーに、学校長の経験者や大学の教授など、教育に係る専門家も入れるべきではないか。学校運営協議会委員 が発言する意見や実践する項目が、子供たちへの教育的効果といった専門的な意見をお伺いしたい。 ・保護者とは他校に比べ、先生方が閉鎖的ではあるなと感じる部分があります。 ・児童が明るく元気に学校生活を過ごしていると思います。また、先生と生徒の壁が無く健全な環境と認識します。
	2	児童生徒は、学校生活が楽しいと 感じている。	B	
	3	教職員は、協力して教育活動に取り 組んでいる。	B	
	4	清掃が行き届き、学校がきれいであ る。	B	
	5	学校の施設・設備は安全に管理され ている。	B	
学習	6	教師は、児童生徒が興味関心の もてる授業、わかりやすい授業を 実施している。	A	
	7	児童生徒は、落ち着いて学習に 取り組んでいる。	B	・何より多くの児童が先生に対して気軽に相談できる関係性が良いと思いました。 ・昔に比べ、グループディスカッションでの授業風景をよく見るようになりました。 ・課題について児童達が個々の意見を出し合い、理解を深める方法はとても素晴らしいと思います。 ・先生と児童の意思疎通が良い様でした。授業は児童は明るい態度で臨んでいると見ました。 ・先生と児童間の距離が近く、いい環境です。 ・教職員と児童が楽しそうに、和気あいあいとしている様子がうかがえる。 ・児童が落ち着いている様子もうかがえる。 ・田んぼやかかし作りの授業では、チームとなって協力する様子もうかがえる。 ・ひかり学級の皆さんは、いつも元気にあいさつしてくれます。嬉しいです。 ・授業はハツラツとした雰囲気を感じます。
	8	児童生徒は、基礎的基本的な学 力を身に付けている。	B	
	9	児童生徒は、家庭学習の習慣を 身に付けている。	B	
	10	児童生徒は、英語活動をおとして 積極的にコミュニケーションを図 うとしている。	B	
規律ある 態度	11	児童生徒は、進んであいさつをし ている。	B	
	12	児童生徒は、場にに応じた言葉遣い ができています。	B	・ひとりひとりの児童に合わせて対応して下さり感謝しています。 ・子供たちは規律に対して分かってはいるけど、甘えから怠慢な態度を見せてしまっているかも知れませんが、考えが古いのか…保護者の 家庭での更なる教育も不可欠だと思っています。 ・学校運営協議会で学校に出向いた際、廊下で会った子供たちは良く挨拶をします。 ・態度など子どもらしくとても良いと思います。 ・良い小学校にすることは地区の住民の協力が必要と考えます。 ・おはようございます。こんにちは。さようならの基本的なあいさつがしっかりできていることがうかがえる。 ・公民館に来る児童は、「ありがとう」を良く口にします。職員としても嬉しい瞬間です。 ・どこの学校でもあることだが落ち着きのない生徒などはどうしても存在してしまうので対応の難しさを感じる。 ・あいさつは学校内では良くできていると思いますが、校外ではそこまででは無いと思います。やたらと声をかけられない、子供も反応しにく い今の時代ですね。
	13	児童生徒は、時間を守って生活し ている。	B	
	14	児童生徒は、きまりを守って生活 している。	B	
	15	教師は、自ら手本となり、規範意 識を高めている。	B	
健康・ 体力	16	学校は、児童生徒の体力を高め ている。	B	・とても元気よく遊んでいると思います。 ・健康や脳等の発育の為に食事、外遊びの重要性を保護者も巻き込みながら考えていけると良いと思いました。 ・児童数が少ないからそう見えるだけかも知れませんが…お昼休みの外遊びなど昔に比べて人数が少ない気がします。 ・毎朝、校庭を走る児童の姿に元気をもらっています。1年生の担任はこの冬でも半そでです。見ていて気持ちがいいです。 ・黙々と走る児童もいますが、ゆっくりでもみんなでワイワイしながら走る姿も良いものです。コミュニケーションをとる機会にもなっていると 思います。
	17	児童生徒は、体育や外遊びに意 欲的に取り組んでいる。	B	
	18	児童生徒は、健康を意識した生活 をしている。	B	
地域との 連携	19	学校は、教育活動に関する様々 な情報を積極的に提供している。	B	・役員になり気付いたのですが、地域との連携や関係性をもっと深まれば様々な事に繋がっていきイベント等では協力して下さる方も増え るのではないかと思います。 ・子供会の解散やPTA活動の見直しなどで保護者が地域の方々に見守られている意識が薄れている気がします。 ・学校を通じて地域との連携を深める企画があれば尚良いかなと思っています。 ・地元で行われる行事等に良く参加している。もっと積極的に公民館を利用してでも協力を求めた方が良いと考えます。 ・学社融合事業や学校農園など地域との連携はとても良くできていると思います。地域の人材も高齢化しており、公民館としても3年後、5年 後、10年後を見据えた人材育成が急務となっています。学校教育に関わる地域人材と連携にあつては、学校・公民館・地域の3者で行って いくことが重要だと思います。公民館に人材バンクをおき、職員が入れ替わっても地域と学校を結び役割を担っていければと考えていま す。 ・保護者が積極的に関わる仕組みを作ることが急務だと思います。 ・やり方は基本アナログであり新しい事への改善、変更をしないところがある。もし、障壁があるのであればそれを保護者に提示しなければ 学校としての評価につながると思う。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協 力し、教育活動を行っている。	B	

【児童・学校・保護者・地域で繋いだ教育活動のアンケート結果について】

昨年12月に保護者の皆様にご協力いただきましたアンケート結果についてお知らせします。ご多用の中、大勢の保護者の皆様に回答をいただき、ありがとうございました。今年度からフォームズでの回答にさせていただきました。なお、評価内容右側の数値は評価基準（満足・だいたい満足）の肯定的評価を合わせた割合を示しました。また比較のため令和3年度～令和6年度のものを示しています。

No	評価内容	評価（A+B）の割合(%)			
		R6	R5	R4	R3
1	学校は、学校だより等で教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている。	97	97	99	98
2	子供は、元気なあいさつができています。	82	81	88	87
3	学校は、子供の学力を高めようと努力している。	91	91	96	95
4	子供は、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	81	85	91	90
5	先生は、子供のことをよく理解し、適切に相談に応じている。	84	90	95	95
6	子供は、学校へ行くのを楽しみにしている。	86	86	96	92
7	学校は、清潔で清掃が行き届いている。	94	95	92	94
8	学校は、花壇、学級・学年園を整備している。	97	94	97	98
9	学校は、事故防止や子供の安全に取り組んでいる。	94	94	98	95
10	学校は、PTAと連携した教育活動を進めている。	85	85	90	86
11	学校は、保護者が学校行事や授業を参観する機会を多く設けている。	99	97	99	89
12	学校は、保護者の思いを聞く機会を設けている。	88	92	94	88

令和5年度と比較し全体として同じくらいの結果になりました。しかし、4・5・6など子供たちに直接関わる大事な項目では大きく下がってしまった結果となりました。きっと子供たちが家に帰りお家の方に伝えている素直な想いが反映されていることと思います。また、12の保護者の思いを聞く機会や11に参観する機会の結果も大切に進めてきた教育活動でした。

この結果を真摯に受け止め、令和7年度は毎日の授業や普段の子供たち・保護者の方との関わりを大切に、工夫をしながら取り組んでまいります。今後も引き続き、子供たちのために教職員一同、教育活動の向上に邁進してまいります。何かあればいつでも学校までご連絡ください。よろしくお願いいたします。